

議会だより

2025.8  
NO.184

# たかはぎ



議会報告会

## 令和7年第2回定例会

会期 6月6日～6月19日

議案に対する質疑……………	3
委員会審査報告……………	4
市政に対する一般質問……………	5

高萩市議会  
ホームページ



5月10日(土)に総合福祉センターにおいて議会報告会を開催し、28人の市民の方にご参加いただきました。令和7年度予算の新規事業を中心とした報告を行い、その後、意見交換を行いました。

今号より紙面を横書きに統一して、左開きに変更しました。また、表紙の題字も変更しました。



## 令和7年第2回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市市税条例の一部改正について）	地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税において特定親族特別控除の創設、軽自動車税種別割の税率区分の見直し等を行うもの。	原案承認 （全員賛成）
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市都市計画税条例の一部改正について）	地方税法等の一部改正に伴い、引用条項ずれの整理を行うもの。	原案承認 （全員賛成）
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市国民健康保険税条例の一部改正について）	地方税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額の引上げ及び軽減判定所得の見直し等を行うもの。	原案承認 （全員賛成）
報告第6号	令和6年度高萩市一般会計予算継続費繰越計算書について	第6次高萩市総合計画後期基本計画・第3期高萩市創生総合戦略策定経費について、継続費の翌年度への繰越額を報告するもの。	—
報告第7号	令和6年度高萩市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	情報化推進経費、住民税非課税世帯物価等高騰対策支援経費、市道舗装改良事業等について、翌年度への繰越額を報告するもの。	—
報告第8号	令和6年度高萩市水道事業会計予算繰越計算書について	配水管布設替工事等について、翌年度への繰越額を報告するもの。	—
議案第30号	高萩市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び高萩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴い、家庭的保育事業者等が保育内容の支援に係る連携施設（保育所・認定こども園又は幼稚園）の確保が困難な場合には、同程度の規模の事業者を連携協力者として確保することで連携施設の代わりとすることを可能とする等の改正を行うもの。	原案可決 （全員賛成）
議案第31号	高萩市特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、投票所の投票管理者等の報酬額改定を行うもの。	原案可決 （全員賛成）
議案第32号	高浜スポーツ広場グラウンド人工芝整備工事請負契約の締結について	地方自治法第96条第1項第5号等に基づき、高浜スポーツ広場グラウンド人工芝整備工事の請負契約を締結するもの。契約金額2億2,704万円。	原案可決 （賛成多数）
議案第33号	令和7年度高萩市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算に、356万4千円を追加するもの。観光施設管理運営経費等の増。	原案可決 （全員賛成）

提出された議案等について、内容の詳細は、議会事務局で閲覧できます。

# 議案質疑

## 議案第30号

高萩市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び高萩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

今川 敏宏 議員

質問 内容を分かりやすく説明していただきたいと思ひます。

健康福祉部長 待機児童の解消や児童が減少している地域における保育基盤の維持を目的とした条例であるが、国の基準において連携施設の確保要件等が緩和されることから本条例の一部を改正する条例を制定したところであります。

質問 この改正によって、子供を預ける保護者と、事業を行っている事業者にとって、どのような効果が期待できるのか、またどういふ影響が出てくるのか。

健康福祉部長 改正の目的が、保育内容の支援に係る連携施設の確保要件の緩和であることから、事業者の負担軽減と保護者の就労機会の向上につながるものと考えております。

## 議案第33号

### 令和7年度高萩市一般会計補正予算(第1号)

藤橋 隼 議員

質問 高浜スポーツ広場の蒸気機関車解体に向けて、長年保存に尽力してきた関係者への説明とその経過、今後の対応について伺う。

産業建設部長 老朽化が進んでいることから、保存活動を続けてきた団体より市に解体撤去を含む検討要望があった。別の保存団体の協力を得て簡易修繕を実施してきたが現在は著しく劣化してお

り、所有者と調整を行い無償譲渡を受けた上での解体が望ましいと判断した。アスベストの含有が懸念されるため、分析調査を実施する補正予算を計上し、今後も関係者への説明を丁寧に行っていく。

質問 解体にあたって、装備品やプレートなど歴史的価値のある部品を保存する視点で、解体費用を算出する考えがあるか伺う。

産業建設部長 解体費用を算出する際には、他自治体の例も参考にし、展示可能な貴重な部品があれば資料館での展示も検討する。

坪和 久男 議員

質問 高浜スポーツ広場蒸気機関車化学分析調査委託料200万円の6月に補正する理由について伺ひます。

産業建設部長 市民の安全安心や周辺環境への悪影響などを考慮すると、劣化が著しい状態の蒸気機関車を展示し続けるよりも、所有者であります東日本旅客鉄道から無償贈与を受け解体撤去するのが望ましいのではないかと考え、昨年来、所有者と調整をしておりました。解体撤去費用を算出するためには、前段としてアスベストの含有の有無や、その量などを分析調査する必要があることから、市民の安全安心や周辺環境への悪影響などを考慮し、少しでも早く調査ができればと考え、今定例会に御提案させていただいたところであります。

質問 調査委託料の財源について伺ひます。

産業建設部長 国や県における補助制度等がないことから、本調査委託料の財源につきましては市の一般財源となります。



96 蒸気機関車

### 議員賛否一覧(議案等に対して賛否の分かれたものを掲載)

○=賛成(採択) ●=反対(不採択) 退=退席(棄権) 欠=欠席

議員名 (議席順)	大平望	富山結樹	高久聡至	藤橋隼	坪和久男	渡辺悦夫	我妻康伸	八木陽子	大森要二	田所和雄	菊地正芳	吉川道隆	今川敏宏	寺岡七郎	結果
議案第32号	○	退	退	○	○	○	○	●	欠	○	●	○	●	※	原案可決

※議長は可否同数の場合を除き、採決に加わりません。

## 委員会審査報告

## 総務産業委員会

6月16日、当委員会に付託された議案2件、陳情2件の審査を行った。

○議案第31号 高萩市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

**問** 選挙の立会人には、一日お願いする方と半日お願いする方がいると思うが、その割合はどうなっているか。また、期間の長い選挙の場合、立会人が不足すると思うが、足りない場合はどうしているのか。

**答** 投票立会人のうち当日の投票所の立会人はすべて一日お願いしている。期日前投票所の立会人は、一日の方のほうが半日の方より若干多い。立会人が足りない場合は、市から打診して依頼している。

○議案第33号 令和7年度高萩市一般会計補正予算(第1号)

**問** 高浜スポーツ広場蒸気機関車化学分析調査

委託料200万円の内訳について伺う。

**答** 内訳は、アスベストを含めた対象となる科学物質の分析料(溶出試験25項目、含有試験14項目)、それから検体の最終費用、諸経費となっている。

**問** 蒸気機関車は、所有者のJRがアスベスト調査した上で高萩市へ譲渡するべきではないのか。

**答** 昭和47年4月6日付で締結した当時の国鉄との無償貸借契約において、移動、保存、修理、管理、返還、その他一切の費用は、市の負担とすることになっているので、今回、市において、解体に向けた事前の調査を実施する。

**問** 蒸気機関車を解体した後は、どのような処分方法を考えているのか。また、解体した部品は資源として売却するのか。

**答** 厚生労働省通知では、アスベストを含有する部品等は、適切に廃棄の上、販売しないこととなっている。アスベストが含まれていない部品等がある場合には、資料館も含め展示等を検討していく。

## 文教厚生委員会

6月13日、当委員会に付託された報告3件、議案3件の審査を行った。

○議案第32号 高浜スポーツ広場グラウンド人工芝整備工事請負契約の締結について

**問** 今回の契約工事の具体的な内容について伺う。

**答** 工事内容は、サッカーコート8840㎡をロングパイルの人工芝敷設、アスファルトの舗装、路盤リサイクル砕石の敷設、暗渠管や側溝排水路、集水ますの設置です。その他電気設備の地中配管の設置等になります。



高浜スポーツ広場

○議案第33号 令和7年度高萩市一般会計補正予算(第1号)

**問** 生活保護事務経費、生活保護システム改修委託料98万6000円について伺う。

**答** 令和7年度の生活保護費の基準額の見直しから、令和7年10月の生活保護費から適用されることから、9月末までにシステム改修をする必要が生じ、今定例会で改修委託料の補正予算を計上しました。基準額の見直しの内容については物価高騰の影響により、生活保護費でも令和5年10月から特例加算として、保護者1人当たり月額1000円を支給しておりましたが、今回の見直しで、令和7年10月から500円引き上げ、被保護者1人当たり月額1500円の特例加算を支給するような内容となっています。

**問** 引き上げの対象になる人数はどのくらいになるのか伺う。

**答** 令和7年6月1日現在の被保護者数でお答えいたします。被保護者数は223名に対し、引き上げの対象となる被保護者数は169名、全体の75.8%です。



渡辺悦夫 議員



## ※1 浸水対策センサーについて

**質問** 茨城新聞に掲載された浸水対策センサーについて伺います。**市民生活部長** 令和7年度の国の実証実験の参加が決定となったところであります。浸水センサーを用いることでリアルタイムに浸水状況を把握できることから、避難情報発令及び通行規制の早期の判断に有効であり、迅速な防災行動につなげられるものと考えております。**質問** 設置の時期と場所と個数について伺います。**市民生活部長** 設置の時期につきましては、現在、国との調整において、7月下旬ごろを見込んでおります。設置の場所と個数につきましては、関根川・竜子川合流点、松岡小学校前、玉川周辺の春日町、高戸、肥前町地区のほか、高萩中学校前などに設置を予定しております。**質問** 設置費用等はどのぐらいかかるのか伺います。**市民生活部長** 浸水センサー本体は5年間無償貸与されるものであり、設置費用につきましては国が負担することとなっております。市の負担としましては、令和8年度以降、通信費のみ負担することとなります。**質問** 市民への情報の発信はどのようにするのか伺います。**市民生活部長** 災害が予想される場合、市は対策本部を立ち上げます。その会議において浸水センサーから得られた情報を基に、迅速に住民の避難指示や通行規制を行うことが可能となります。避難行動の促進、防災・減災効果の向上が期待できることと考えております。

ガードレールの支柱に取付けた浸水センサー



田所和雄 議員



## 防災マップ（大雨編）の改訂について

**質問** 現行の防災マップでは、玉川周辺が浸水想定区域に入っていない。防災マップの改訂の概要について伺います。**市民生活部長** 茨城県が新たに指定した洪水浸水想定区域図を反映させ、市が把握している令和5年の台風13号により浸水被害のあった大字高戸地内の行人塚周辺地区についても反映させる予定です。

## 準用河川玉川改修事業について

**質問** 事業の概要と進捗状況について伺います。**産業建設部長** 流域の再調査を行う業務で、現地踏査、調査測量、流域分割界、計画高水、改修方策の検討などです。現在、改修方策の検討作業を進めている状況です。

## 準用河川玉川の洪水対策と改修計画の今後の予定について

**質問** 実際の玉川の改修工事の完成の予定を伺います。**産業建設部長** 河川の改修は大規模な事業費が見込まれ、事業期間は長期にわたると想定しています。

## 準用河川玉川を含めた関根川水系における調節池と田んぼダムの検討について

**質問** 茨城県では、流域治水の取り組みを推進しており、関根川への調節池の整備、田んぼダムの導入等を緊急対策としてしています。県と協議を重ね、大規模な調節池と田んぼダムの整備が実現できるよう取り組んでいただきたい。玉川を含む関根川水系における高萩市の対応について伺います。**市長** 県では、今年度、調節池について地元への説明や基本設計にとりかかる予定です。県の田んぼダム促進対策事業については、県の担当者から各地区の常設委員に田んぼダムの仕組み等の説明をしていただき、導入に向け取り組んでいます。関係各課情報共有の下、事業の推進を図ります。

玉川(総合福祉センター付近)

※1…12ページの用語解説をご参照ください。



大平 望 議員



## SNSを活用した関係人口等の拡大策について

**質問** 人口減少が進む中、定住人口の増加は容易でなく、まずは市の魅力を知ってもらう交流人口や関係人口の拡大が必要と考えるが市の見解を問う。

**産業建設部長** 本市では「アウトドアのまち」としての認知向上を目指し、観光資源の活用や体験型観光の推進に取り組んでいる。市ホームページやSNS、首都圏の商業施設やイベントでのPR、駅・空港でのパンフレット配布などにより、観光誘客と交流人口の増加を図っている。今後もこうした広報活動を継続する。

**市民生活部長** 関係人口の創出に向けて、高校や大学との連携、地域体験型のイベント、地元特産品を活かした取り組みを行っている。市外のフリーランス人材の協力によるウェブコンテンツ制作なども進めており、国の「ふるさと住民制度」にも注目している。地域との継続的関わりを通じた関係人口の拡大に今後も努める。

**質問** SNS発信の民間委託活用について

**産業建設部長** 観光情報SNSでは過去に民間委託の実績がある。今後も他自治体の事例や効果を調査し、インフルエンサー活用も含め、委託の可能性を検討したい。

**市長** SNSは重要な情報発信手段であり、委託による専門性の活用には意義があると考えます。一方で、体制整備や成果の検証、トラブル対応などの課題も踏まえ、引き続き調査研究を行う。



藤橋 隼 議員



## シニア世代の活力と介護分業化による人材確保対策について

**質問** 介護現場の人手不足に対し、元気なシニア世代の雇用を創出することで、介護助手として活躍できる環境整備を求める。

**健康福祉部長** いきいき応援サポーター事業だけでなく、高齢者が介護という職種に関心を持てるよう介護人材の裾野を広げられるような事業や研修を行っていききたい。



シニア人材の活力

## 給食費無償化の国の動向を踏まえた子供支援とアウトリーチ施策の充実について

**質問** 国の給食費無償化が実現した場合、市の助成分を子ども宅食やアウトリーチ型の家庭支援へ転用すべきではないか。

**健康福祉部長** 支援の裾野を広げていくために、財源だけでなくマンパワーや関係機関の拡充等も協議しながら事業導入について検討したい。

**市長** 引き続き「こども家庭センター」を中心にアウトリーチ支援ができる体制を含め市全体で支えていく体制づくりを検討する。

## 地域資源との連携を生かす渉外窓口の整備とまちづくり戦略の整合性について

**質問** 民間提案を全庁で一元的に受け止める「渉外相談窓口」の設置を提案する。

**企画総務部長** 庁内の情報共有と連携を強化し、機会損失を防ぐ体制づくりを進めていく。

## 地域コミュニティ形成と防犯灯管理体制の進捗状況について

**質問** 地域活動の担い手が減少し防犯灯の管理負担や不公平感も課題。検討の進捗を伺う。

**企画総務部長** 課題を認識している。地域の意見等も踏まえ引き続き検討する。

**市民生活部長** 地域に合った方法で持続可能で協力しやすい地域づくりを支援する新たな仕組みを構築する。

※2…12 ページの用語解説をご参照ください。



今川敏宏 議員

公共建築物の考え方  
について

**質問** 公共施設等を含めて建築物の耐用年数とはどういうふうに考えられていますか。

**教育部長** 鉄筋コンクリート造の場合、税法上の耐用年数は47年とされており、これは減価償却費の計算に用いられる期間であり、実際の使用可能年数とは異なります。実際の使用年数、すなわち物理的耐用年数につきましては、文部科学省が作成した学校施設の長寿命化計画策定に係る手引により、建物が適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には、70年から80年程度の使用が可能であるとされているところであります。

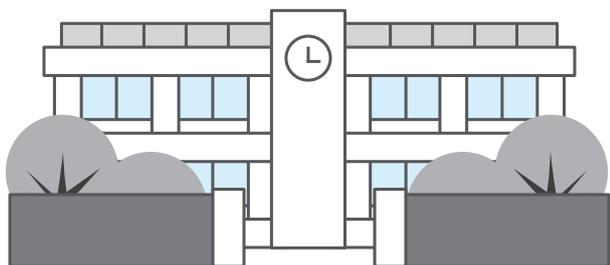
## 小中学校統廃合について

**質問** 計画延期の理由を説明してください。

**教育部長** 近年の建設資材価格及び人件費の急激な上昇により、施設整備に要する費用は当初の想定を大きく上回っております。このような状況に加え、本市の厳しい財政状況の下では、直ちに計画を実行に移すことは現実的に困難であり、見合わせる判断をしました。

**質問** そもそも新しい学校を造る必要がないんじゃないか、今ある校舎を使って集約していいんじゃないかと思えます。そうすれば土地のお金も新築工事費もかからない、修繕費だけでいけるはずなんです。子供数もどんどんこれから減っていくのですから、十分集約できると思えます。

**教育部長** 児童生徒数の減少と学校施設の老朽化、さらには防災機能の強化といった教育現場を取り巻く様々な課題に対応するために学校再編に着手したところです。



坪和久男 議員

高齢者の終活サポート事業  
等について

**質問** 高萩市の終活サポート体制について伺います。

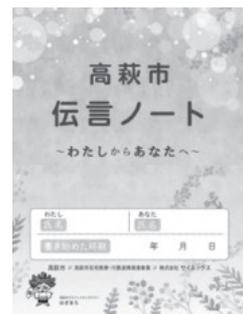
**健康福祉部長** 終活について相談できる身近な相談窓口は、高齢福祉課内にあります。

**質問** 終活相談コーナーの案内板の設置について伺います。

**健康福祉部長** 終活相談コーナーがあることのPRや、来庁された方のスムーズな案内に有効であると思いますので目につきやすい場所に分かりやすい案内板等の掲示物を設置したいと考えております。

**質問** 「高萩市伝言ノート」のデジタル化について伺います。

**健康福祉部長** これからの人生を明確にし、周りの人に思いを伝える媒体として十分活用できる内容となっておりますが、紙媒体のみであり、書く手間や書き直す際の不便を感じるという声もありますので、今後はいつでも修正できるよう、wordなどのデジタル化、電子媒体での提供についても検討してまいります。

手綱工業団地内の市道1013号線の  
街路樹等の管理について

**質問** 高萩市の玄関口の一つである市道1013号線は桜の名所でもありましたが、現在は老朽化が進んでいる一方、枝の張り出しや雑草の繁茂もあり、人・自転車の通行にも支障が出ています。街路樹等の管理状況について伺います。

**産業建設部長** 街路樹の枝打ちは、市道パトロール及び市民や近隣企業などからの通報により樹木の状況を把握し必要に応じて実施しています。歩道等の草刈りの実施は繁茂状況を把握し必要に応じて職員等による草刈りを実施しています。

市道1013号線  
手綱工業団地入口付近



高久聡至 議員



## 子ども議会について

**質問** 子ども議会開催に対する本市の基本的な考えて方について伺う。

**企画総務部長** 児童生徒による模擬議会を開催し、市の将来や身近な問題について考え、一般質問形式で質問及び要望を行うことにより、市政への関心と議会の意味や仕組みへの理解を深め、子供の主体性を育成する取組であると認識をしている。平成29年まで4回にわたり開催していたが、校長会との協議により、学校行事との調整が困難であるため、現在は開催していない。

**質問** 他自治体の取組事例について伺う。

**企画総務部長** 県内では、10市町が開催しており、議場での一般質問形式を行っている。一方で、15市町村が以前は開催していたが、当市と同様の理由により、現在は開催していない。

**質問** 子どもの意見を反映する仕組みについて伺う。

**企画総務部長** 市内小中学生の代表者が意見交換を行う児童会、まちづくり勉強会において、高校生に参加いただき、若い世代の意見を取り入れることに努めている。

**質問** 子どもたちの提案を市政にどう生かすかについて伺う。

**市長** 様々な場面において、子供を含めた幅広い世代の意見を市政に反映できるように努めてまいりました。例えば、市の各種計画策定時に、必要に応じて若い世代の意見を聞くなど、本市の将来を考える機会を設け、まちづくりへの関心や郷土の愛着を高めるための機会を提供するとともに、子供目線で見た市の課題及び意見を聴取し、市政運営の参考としていただいております。



菊地正芳 議員



## 5歳児健診について

**質問** 5歳児この時期は、言葉の理解度や社会性が発達することから、こだわりが強い、協調性が低いといった感情や行動の傾向を見ることで、発達障害を発見しやすい重要なタイミングとされている。こども家庭庁は、2025年度から5歳児健診の全国的な普及に乗り出した。実施率を2028年度までに100%にする目標が掲げられ早期に障害がある子供を支援し、症状の改善につなげるのが狙いである。本市においても様々な課題を整理しながら、5歳児健診の早期に導入することについて見解を伺う。

**健康福祉部長** 本市といたしましても必要性を認識しているところでございますので、課題解決を図りながら、5歳児健診の導入に向けて、検討してまいりたいと考えております。



## 認知症対応について

**質問** フランスで開発されたケア技法「ユマニチュード」<sup>※3</sup>は、認知症の人の心の不安や混乱を和らげる効果や、これまでケア拒否の改善や、介護職員の離職低下にもつながるなど、一定の効果が科学的にも報告されています。在宅介護を行う家族や地域住民においても積極的に取り入れ、地域に浸透させていく必要があると考えるが見解を伺う。

**健康福祉部長** 様々な手法のよいところを参考にして、引き続き、市民向け、各種団体向けの認知症サポーター養成講座を実施してまいりたいと考えております。また、その他、認知症の人に対する理解と接し方を啓発する機会においても周知してまいりたいと考えております。

※3…12 ページの用語解説をご参照ください。



吉川道隆 議員



高萩駅周辺地区再整備基本構想について

**質問** 再整備の構想案には事業の具体的なスケジュールが書かれていない。最終的にはいつ利用開始できるようにするのか。

**市長** 今、具体的な期間は言えないが、東西自由通路を含めた整備にはJR東日本と協定締結が必要であり、他市町村を参考にすると10年以上先となる。

**質問** 高萩以外の近隣の駅はほぼすべて橋上駅になっている。再整備を行う中で、高萩駅も橋上化できるようJRとの協議は行われているのか。

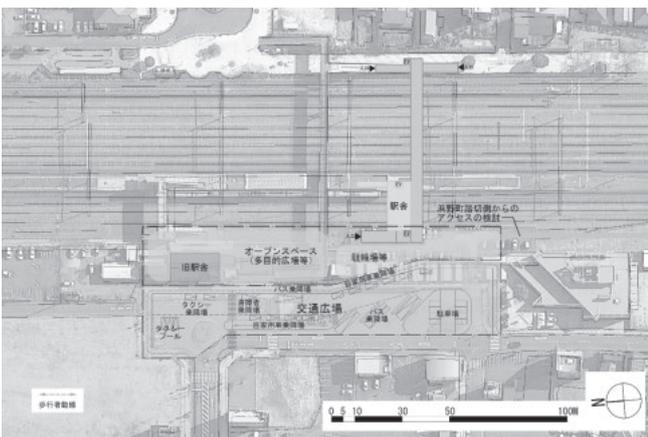
**企画総務部長** JR東日本からは高萩駅はホームが一つしかないことから橋上化は難しいと言われている。

**質問** 基本構想のイメージでは駅前周辺の空店舗や空地を利活用すると書いてあるが、いくつあるのか。それらは本当に利活用できるのか。

**産業建設部長** 空店舗は11棟、空地は35か所を把握している。利用できるかどうかという把握まではしていない。

**質問** 一つ一つのコンテナが一つの客室になっているコンテナホテル。けん引車による移送が可能のため災害時には被災地に移動できるレスキューホテルとして活用でき、災害協定を結んでいる自治体もある。高萩市でもこのような協定を結びながら、平時にはビジネスホテルとして運用し、空地利用の一つとして考えてはどうか。

**市長** 空地利用で市民とのやり取りで進めようとして成立しなかった例もあるが、社会的備蓄にもつながり、災害対策の強化にも有効であると認識しており、協定の締結を現在検討中である。



東西自由通路構想案のうちの1案

討論

議案第32号 高浜スポーツ広場グラウンド人工芝整備工事請負契約の締結について

**反対** 今川 敏宏 議員

当初予算の反対討論でも言いましたが、まずは計画をしっかりと示して、その計画が成り立つのかどうか、議会や有識者の意見を伺いながら、進めるべき事業だと揺るぎありません。

そうした推進経過が報告も無く、事業契約なんて信じられませんし、あり得ません。

たとえば建設工事では、ひとつの建築物を造るために、多面的検討をするのが当たり前です。その検討のため、考えられる経費を積算しなければなりません。そうした積み重ねによってひとつの建設物が造られて行くものです。

事業は遊びではないことは重々理解されていると思いますが、市民の庶民の税金を1円たりとも無駄にしないように、そのためのチェック機関である議会であるし、議員だということを、夢寐にも忘れてはならないと申し上げて、討論を終わります。

請願・陳情の審議結果

事件番号	件名	結果
陳情第2号	市道舗装補修に関する陳情	採択
陳情第3号	令和6年3月25日高萩市と株式会社ウィザスとの間で締結された「高萩市の地域振興に関する協定」に関する陳情書	不採択





## 議会報告会

高萩市議会では、5月10日(土)午後2時から高萩市総合福祉センター研修室において、令和7年度議会報告会・意見交換会を開催しました。

当日は28名の方にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

議会からの報告内容としては、はじめに、3月定例会で市長から提出された令和7年度予算について、総務産業委員会委員長、文教厚生委員会副委員長から、それぞれの委員会で審議された主な審議内容について説明を行いました。次に、市民の皆さんとの意見交換を行いました。意見交換の中では、高浜スポーツ広場グラウンド人工芝整備工事に関することや高萩市立義務教育学校施設整備の計画に関することなどについて、意見交換を行いました。

主な市民の皆さんからの質問・意見・要望につきましては、次のような内容です。

- ・玉川の拡幅工事と水害対策についての質問では、「玉川の拡幅は進んでいるのか」
- ・高浜スポーツ広場の整備事業に関する質問では、「なぜ既存の石滝サッカー場を払い下げたのか」、「利用者への説明が不十分ではないか」、「他スポーツ(野球等)利用者への代替整備計画が不明瞭」、「2億6千万円だけでなく、将来整備予定の駐車場等に3億円程度かかることを市は明示すべき」との意見が寄せられました。皆さまからいただきました意見や要望は今後の議会活動に活かしてまいります。

なお、議会報告会の実施報告書は議会ホームページからご覧になれます。



## 委員会視察報告

### ◇総務産業委員会◇

○5月13日～15日

○調査事項 観光振興について

【視察地】滋賀県近江八幡市

近江八幡市は、観光客数が600万人を超える観光地である。その観光振興の取組は、行政主体ではなく、民間の柔軟な発想と技術、市民意識の高さを育成保持発展させながら、楽しんで取組を行っていた。特に、近年注目されているVR(バーチャル・リアリティ)を活用した取組の「幻の安土城」を再現したシアターが目を引いた。高萩市としても龍子城を活用して何か出来ないか新たな期待が膨らんだ。

○調査事項 農業DX(デジタルトランスフォーメーション)について

【視察地】兵庫県上郡町

上郡町は、農業が主産業の町であり、高齢化と継承者減少の課題に真っ向から取り組んでいる。取組としては、有機農法、スマート農業によって持続可能性を確立しながら、農産物の特化と価格、品質の向上を目指している。農業DXは全国的な課題であるが、農業は人が生きていく上で欠かせない産業であるので、面白く楽しく儲かるという観点から、農業の持続的展開を進めていくことができればよいと感じた。



兵庫県上郡町

### ◇議会広報委員会◇

○5月20日～22日

○調査事項 議会広報について

【視察地】埼玉県戸田市、山梨県甲斐市

甲斐市と戸田市の議会広報紙は、「開かれた議会」を目指し紙面・発信方法の洗練と市民参加の強化に取り組んでいる。

甲斐市では2020年に市報をフルカラー16ページへ刷新し、リニューアルの際に親しみやすさを重視し、「かい」をひらがな、「議会」をカタカナ表記に変更。AIによるリアルタイム字幕・インターネット中継・広告枠導入などアクセシビリティと財源多様化を追求。県広報コンクールで優秀賞・最優秀賞を受賞している。

戸田市は令和5年度より、ポスティングにより全世帯配布を開始、サイドブックス内にあるちいき本棚へ掲載。2022年に「左開き・横書き」へリニューアルを実施、週刊誌風見出し等伝わりやすい紙面設計へ刷新。市民モニターの採用、議会見学ツアーやSNS連携、中学生との意見交換「とだみらい会議」を通じて市民の関心を喚起。議会改革と連動し、議論の可視化を重視している。



戸田市役所

## 令和6年度政務活動費の支出状況

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に役立てるため必要な経費の一部として、議員に対して交付されるものです。

高萩市議会議員には、政務活動費として、年度当初の4月に1年分12万円（1人当たり月額1万円）が交付されます。

各議員は、毎年収支報告書に領収書を添付して議長に提出し、残額は返還します。

なお、収支報告書は議会事務局で閲覧できます。

(単位：円)

氏名	支出額						残額 (戻入額)
	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	事務所費	合計	
大平 望		90,000	30,000			120,000	0
畠山 結樹						0	120,000
高久 聡至			63,400			63,400	56,600
藤橋 隼	25,000	33,230	1,430			59,660	60,340
坪和 久男			6,726		42,423	49,149	70,851
渡辺 悦夫				59,687	45,000	104,687	15,313
我妻 康伸						0	120,000
八木 陽子			661	22,164	46,090	68,915	51,085
大森 要二			330	51,485		51,815	68,185
田所 和雄				96,740		96,740	23,260
菊地 正芳			5,901	60,340		66,241	53,759
吉川 道隆		120,000				120,000	0
今川 敏宏				42,000		42,000	78,000
寺岡 七郎				67,750	28,480	96,230	23,770
合計	25,000	243,230	108,448	400,166	161,993	938,837	741,163

## 議会日誌

### 5月

- 8日 議会全員協議会
- 10日 議会報告会
- 13～15日  
総務産業委員会行政視察
- 20～22日  
議会広報委員会行政視察
- 20日 全国市議会議長会定例総会
- 28日 議会運営委員会
- 29日 議会全員協議会

### 6月

- 6～19日  
第2回定例会
- 12日 議会全員協議会
- 19日 議会全員協議会  
議会広報委員会

### 7月

- 1～3日  
文教厚生委員会行政視察
- 15日 議会広報委員会
- 23日 議会広報委員会  
議会全員協議会

## 声の広報

(議会だよりの音声版)

ボランティアグループ「高萩読みきかせグループ」が音訳した『議会だより』を、市ホームページから聞くことができます。



市民の声

高萩市在住 E・Fさん

この度は、市民の声に投稿する機会を頂き、ありがとうございます。

私は30代の主婦で、小学生の子供が2人います。

親と暮らしていた独身の頃は行政のことに關心もなく、不便さも気づかずに暮らしていました。

でも、結婚して家庭を持ち、出産・子育てをする中で、行政の支えがどれだけ大切かを実感するようになりました。

高萩市が給食費の物価高騰分を公費で負担してくれていること、中学校給食が無償になったことは本当にありがたいです。

でも、小学生の給食費も無償になったら、もっと多くの家庭が助かるはずです。物価高の中での毎月の支払いは正直つらいです。

それに、毎年暑さが厳しくなり、学校での熱中症も心配です。

子どもが安心して学校に通え、親も安心して働けるように…

これからも市民の声に耳を傾ける議会であってほしいと願っています。



令和7年第3回定例会（9月）予定

- 5日(金)本会議 議案上程
- 8日(月)本会議 一般質問
- 9日(火)本会議 一般質問
- 11日(木)本会議 議案質疑
- 12日(金)文教厚生委員会
- 16日(火)総務産業委員会
- 17日(水)決算特別委員会(総務産業所管分)
- 18日(木)決算特別委員会(文教厚生所管分)
- 19日(金)決算特別委員会(特別・企業会計)
- 22日(月)議会改革特別委員会
- 25日(木)本会議 採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。

永年勤続議員表彰



全国市議会議長会定例会及び茨城県市議会議長会定例会において、寺岡七郎議長が正副議長在職4年表彰、八木陽子議員が議員在職15年表彰をそれぞれ受賞されました。

用語解説

議会において使われた用語(※印)について、解説します。

※1 浸水対策センサー

浸水対策センサーは、道路、地下道、水路など浸水が想定される場所に設置して、水に浸かることで電波を発信して、浸水の状況を検知する装置です。主に、河川の氾濫や大雨による浸水被害の状況をリアルタイムで把握し、迅速な避難や被害軽減に役立てるために使用されます。

※2 アウトリーチ

福祉や相談の支援は「窓口に来た人」に対して行われるが、誰に相談したらいいのかわからない、仕事や家庭の事情で窓口に行く時間がない、「こんな

ことで相談してもいいのか」と遠慮してしまう等で、支援を受けられずに困っている人が多くいる。そこで、「支援が必要そうな人に、行政や地域の人たちから積極的に声をかけたり、訪ねたりする」取り組みが生まれた。それが「アウトリーチ」です。

※3 ユマニチュード

人間としての尊厳とその人らしさを大切に、あなたを大切に思っています、あなたはここにいますよというケアを行う、人の優しい気持ちを伝える技法であるとともに、ポジティブな関係を構築するためのケアの哲学でもあります。こうしたことから、ケアを必要とする全ての人が対象となるケア技法です。